

## カトリック医師会 東京支部 公開講座

『健康格差時代における医療者の役割：  
”最も小さい者たちの一人にしたことは、わたしにしたのです”』

講師：武田 裕子（医師）  
順天堂大学大学院 医学研究科  
医学教育学 教授



2022年1月23日(日)16:00-17:30

Zoomによるオンライン

※状況次第で会場開催も併用

コロナ禍による社会の変化は、私たちの生活や健康にさまざまな影響をもたらしています。ウイルスは人を選ばないと思いがちですが、社会的・経済的に不利な状況にある人ほど感染リスクが高く、心身の健康を害しやすい状況に置かれています。病気の発症やその後の経過には、遺伝子や体質、年齢や性別といった生物学的要因よりも社会的な要素が大きく影響し、それらを健康の社会的決定要因(SDH: Social determinants of health)といいます。本講演ではSDHを概説し、医学生がどのように学んでいるのかご紹介します。医療者がどのような役割を果たせるのか、共に考えてみませんか。

### 【講師プロフィール】

武田 裕子（たけだ ゆうこ）

1986年筑波大学卒業。専門は、内科/プライマリ・ケア、医学教育、地域医療、国際保健。健康格差をテーマに、「自己責任」と言わない医師を育てる教育に取り組む。週に一度、訪問診療に従事。路上生活者への支援活動を定期的に行い、在住外国人の健康格差の改善に向けて医療者への「やさしい日本語」の普及を図っている。

- ◆ 参加費：1,000円（申込後、振込先の情報をお伝えします）
- ◆ 参加申込：下記URLまたは右のQRコードからのweb申込  
<https://forms.gle/ETmzMJyJPigTNARr7>
- ◆ 申込締切：2022年1月15日(土)



基本はZoom開催を予定していますが、新型コロナウイルス感染の収束など状況が許せば、会場(都内)での開催も実施。会場での参加希望者には会場案内をお送りします。1月20日までにZoomのURL(または会場案内)と振込先口座情報をメールでお送りします。もし届かない場合は、下記事務局にお問い合わせ下さい。

- ◆ 主催：カトリック医師会 東京支部
- ◆ お問い合わせ：jcma2021@yahoo.co.jp